

社会福祉法人大川市福祉会

- ◇ 知的障害者通所授産施設 木の香園
- ◇ 児童デイサービス・日中一時支援 木の香園でいさーびす
- ◇ 指定相談支援 木の香園相談支援センター
- ◇ 地域活動支援センター 木の香らんど
- ◇ グループホーム 木の香ほーむ

- <法人本部> 〒831-0007 福岡県大川市大字道海島866-1
 電話 0944-87-7197 FAX 0944-87-7201
 E-mail kinokaen@soleil.ocn.ne.jp URL http://kinokaen.web.fc2.com
- <北古賀事業所> 〒831-0032 福岡県大川市大字北古賀245-3
 電話 0944-32-9490 FAX 0944-32-9598
- <小保事業所> 〒831-0041 福岡県大川市大字小保470-1
 電話・FAX 0944-32-9921



大川市福祉会は事業所を拡大しました!!

木の香園では平成5年の開設以来、業務を大川市道海島で行ってきましたが、今年4月より大川市北古賀に地域活動支援センター「木の香らんど」、大川市小保の小保団地にグループホーム「木の香ほーむ」を開設しました。

それに伴い、児童デイサービス・日中一時支援事業と指定相談事業も北古賀事業所へ移す事になり5月27日に「木の香園でいさーびす」「木の香らんど」の開所式を執り行いました。

北古賀事業所に通所する利用者の方々や子供たちも新しい環境に慣れてきて、日々の作業やスポーツ活動、また創作活動・園外活動と楽しい時間を過ごしています。

また「木の香ほーむ」では、2名の利用者が入居して世話人などのサポートを受けながら地域生活を楽しんでいます。

施設長挨拶



社会福祉法人大川市福祉会

木の香園

施設長 樺島留男

皆さん、こんにちは。今年も例年になく厳しい暑さが続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。

さて、我が社会福祉法人大川市福祉会の香園は早いもので今年四月に開設十八年目を迎えました。授産事業もリサイクル事業を始め、クロネコメール便配達や企業からの下請け作業など充実した内容になったのではないかと思います。

また、平成二十年に「木の香園でいさびす」と「木の香園相談支援センター」を相次ぎ開設し、地域の障害を持つ方々のニーズに応じてきました。今年四月より新たに地域活動支援センター「木の香らんど」グループホーム「木の香ほーむ」を北古賀と小保団地内にそれぞれ開設しました。さらに児童デイサービス「木の香園でいさびす」を5月から開設し、放課後と長期休暇中の療育活動を展開しています。

さらに来年は障害者自立支援法に基づく新体系移行を実施する予定で、下林地区に多機能型事業所を建設することになり、現在その準備をすすめているところです。

時代の変化とともに障害のある方々を取り巻く環境は厳しいものがあるかと思いますが、

当福祉会としましては各事業所を利用される皆さんの笑顔を拝見するために、地域に根ざした施設作りをしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆障害者自立支援法から 障害者総合福祉法（仮称）へ

厚生労働省は、平成十八年度から施行された障害者自立支援法は、昨年の政権交代の公約によって廃止が決定し、平成二十五年八月までに障害者総合福祉法（仮称）を施行することとしています。

この間、国は内閣府に障害者制度改革推進本部（本部長：内閣総理大臣）を設置して、総合福祉部会において新しい法律案の作成に取りかかっています。この福祉部会は、障害者を持つ本人や障害者団体などの代表が参加する五十五人の委員で構成され、徹底して障害者の側にたった法律を作ろうとしています。

木の香園をはじめとする大川市福祉会の事業も障害者自立支援法に基づく新体系への移行を平成二十三年四月に行う予定です。その後、障害者総合福祉法（仮称）への対応が必要となってくると思います。

利用者の皆様やご家族の皆様は、くるくる変わる福祉政策に不安を持っているかと思えます。私たち大川市福祉会はどのような政策が実施されようと、利用して下さる皆様への福祉サービスの質を向上させ、地域で安心して暮らせるような支援体制の構築に努めて参ります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

もし、判らないことや不安なことがあります。したらいつでも大川市福祉会にご相談下さい。

文責：上釜光輝

◆障害者お困りごと何でも相談窓口

「木の香園相談支援センター」からののお知らせ

相談支援センターも開設から二年目を迎える徐々にはございますが軌道に乗りつつあります。

平成二十二年度は、相談件数は五五一人の方から述べ八五五件の相談がありました。相談件数が増えてきております。主な相談内容は、生活支援、福祉手続支援、福祉サービスの利用に関する情報提供、成年後見制度の利用などです。

相談事業所ごとに担当区域が決まっております。木の香園相談支援センターの担当区域は、大川校区、小保校区、川口校区、大野島校区、田口校区となっております。随時、広報活動を行って参ります。まだまだ周知が十分でないところもありますので、よろしくお願いたします。

また、今年の四月から相談センターの事務所を北古賀に移転しました。ゆめタウンの真裏に位置し、交通の便が良いところで、一度相談にお立ち寄り下さい。

文責：上釜光輝



新人職員紹介



豆田 千明

みなさん、初めまして。今年の4月から木の香園の一員になりました豆田千明です。佐賀の富士町出身です。
 社会人一年目なので、わからないこともたくさんありますが、日々いろいろな事を経験しながら成長したいと思っています。
 毎日元気に頑張ります。これからよろしくお願ひします。



佐藤 房子

はじめまして。この度、木の香らんどでお世話になっております佐藤と申します。
 今後、様々な行事を通して又、新たな気持ちで進んでいきたいと思っております。
 どうぞよろしくお願ひ致します。

◆ 新人さんいらっしゃい

このたび木の香園に4名の利用者が新しく仲間入りをしました。
 今年二月・三月にかけて随時入所された方たちで、今では園にもすっかり慣れて楽しく過ごしています。よろしくお願ひします！

島崎典子さん



山田喜久恵さん



箆島早紀子さん



中野和成さん



◆ あんな作業 こんな作業

木の香園では平成二十二年度より「芽取りキャップ」作業を開始しました。
 芽取りキャップはホクト株式会社 主に食品包装資材の製造・販売、および食用きのこを製造する企業です。で使用するきのこ栽培過程で用いられるキャップです。
 作業手順ですが、木の香園に持ち込まれる時はキャップの中にきのこの根元の塊がついているので、それを取り除いてきれいにする内容になっています。
 利用者の方たちも、真剣に取り組んでいるので、この作業が楽しみのようです。



◆北古賀事業所・小保事業所だより

●指定児童デイサービス・日中一時支援 木の香園でいさーびす

指定児童デイサービス・日中一時支援 木の香園でいさーびすでは、障害を持つ子どもに対し、日常生活における基本的動作を習得し、集団生活への適応を促すとともに、本人の持つ発達の芽を育てていきます。子どもの心と体の状況や子どもを取り巻く環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。

また、通常のデイサービスに加え、放課後等の活動の場を提供するための放課後型デイサービスを実施することを目的としています。現在3名の指導員を配置し、利用する子どもたちの安全面に気をつけながら楽しく過ごせるように様々なプログラムを組んで実行していきます。



●地域活動支援センター 『木の香らんど』

平成二十二年四月一日より、新たに設置した北古賀事業所において三障害 知的・身体・精神)の方を支援する地域活動支援センター 『木の香らんど』を開設しました。

この事業所を運営していく主な方針としては①障害を持つ方の地域生活を支援、②自立生活を支えるための基盤整備、③地域のニーズに対応、の3項目を挙げています。職員構成は施設長1名、指導員2名、精神保健福祉士1名、事務員1名、嘱託医(精神科医)1名)で常に利用者の方々への速やかな対応を心がけています。

ここでの作業は、健康状態など心身の状態にあわせて仕事に取り組み、企業からの下請け作業を中心にいろいろな仕事を請け負っています。

併せて木の香園相談支援センターを併設していることで 障害福祉に関するお困りごとの相談等に応じます。お気軽にご利用ください。



●グループホーム 『木の香ほーむ』

平成二十二年四月より、大川市の小保団地内にある公共賃貸住宅にグループホーム 『木の香ほーむ』を開設しました。

当ほーむでは障害を持つ方たちがここで共同生活をしながら、日中は木の香園へ通っています。

世話人(キーパー)を配置し、日常生活や余暇の介助、悩み事等の相談支援に当たっています。障害を持つ方の自立や親亡き後の生活を考えた時、重要な選択肢の一つとなっています。

目標としては自立して地域の中で楽しく暮らしてもらうことを目指しています。居住する部屋は二部屋で、現在2名の利用者が入居しています。

地域での自立生活をご検討の方がおりましたらご紹介いただきますようお願いいたします。



◆これまでの行事

～平成二十二年 度二月より
平成二十二年 度六月まで～



●梅の花見学 2月22日
北風が吹いて寒い1日でしたが、今回は柳川市の梅の木街道公園へ行ってきました。



●おふろうさんまつり見物 2月9日
大川の冬の風物詩である「おふろうさんまつり」の見物に行きました。主に露店めぐりをして楽しみました。



●ひなまつり 3月3日
木の香園の女性利用者によるお茶菓子のもてなしと、フルート演奏などが行われ、皆きれいな音色に聞き入っていました。



●木の香マラソン参加 2月28日
すっかり大川の早春のイベントになった木の香マラソン。合わせて17名の利用者・職員が参加して、全員無事に完走しました。



●大川ライオンズクラブ招待バスハイク 4月23日
毎年恒例となった大川ライオンズクラブ招待バスハイクは今回も太宰府方面に行きました。あいにくの雨模様でしたが、太宰府天満宮参拝とだざいふえんを満喫しました。



●お花見 3月30日
例年どおり佐賀市の蓮池公園まで行ってきました。今回は木の香園でいさーびすの子どもたちも一緒だったのでにぎやかな花見になりました。



● **チャレンジデー** 5月26日
 チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。
 今回は肌寒い天気でしたがウォーキングを行いました。



● **社会見学** 5月15日・22日
 昨年に引き続き、西鉄電車を使っての外出をしました。行き先となった西鉄久留米駅周辺では、買い物や食事を各々楽しみました。利用者の方々は電車を利用するのも楽しみになってきたようです。

◆ **生活支援** ～調理実習～

6月24日、生活支援の一環として調理実習を行いました。
 今回は女性利用者の皆さんが腕をふるってお好み焼きを作りました。おいしそうに焼き上がり、利用者達も満足していただきました。



● **ちまきの会** 6月1日
 今回も皆でヨシの葉を洗ったり、生地を丸めたりしてたくさんのちまきを作りました。「ちまき」は遅れた5月の誕生会のおやつとしていただきました。

◆ **障害者就労訓練設備等整備事業**

木の香園では平成二十二年度障害者就労訓練等施設整備補助金による助成（金額500万円）を受けて、リサイクル事業の缶プレス器、及び缶選別セパレーターを導入しました。

これにより今まで以上に大量のアルミ缶を処理することができるようになりました。作業担当の面々も大変喜んでいきます。また利用者の授産工賃の引き上げのためにも大いに稼働してくれる事を期待します。



■職員募集のお知らせ

このたび、社会福祉法人大川市福祉会では次の通り職員を募集しています。

児童指導員・保育士

職 種 児童指導員または保育士

雇用期間 平成二十二年四月一日～平成二十三年三月三十一日（1年間）

※中途採用者は、採用日から右記末日まで

職務内容 指定児童デイサービスにおける障害児の療育指導、発達支援、日常生活動作の獲得）、生活支援、相談支援

勤務場所 大川市大字北古賀245-3

木の香ほーむ世話人

職 種 障害者グループホーム世話人

雇用期間 平成二十二年四月一日～平成二十三年三月三十一日（1年間）

※中途採用者は、採用日から右記末日まで

職務内容 食事、買い物、掃除、洗濯、入浴に関するお世話及び、入居者の相談

勤務場所 大川市大字小保 小保団地1棟

お問い合わせ 大川市福祉会
担当 山崎 上釜まで

◆アルミ缶回収のご協力を

社会福祉法人大川市福祉会 木の香園では、一九九三年の開設当初より、授産事業の一つとして、リサイクル事業、アルミ缶回収・空き瓶回収）を行っております。アルミ缶回収、プレス作業を行って二〇一〇年度で十八年になりました。その収益は利用者への作業工賃として全額還元しています。現在も、数多くの市民の皆様よりご協力頂いてアルミ回収を行っております。毎月1トンのアルミ回収を行っておりますが、木の香園の今後の目標としましては、月2トンの回収を目指して頑張っていきたいと思っております。今後、一層の市民の皆様のご協力をお願いいたします。

連絡先 木の香園 担当 石井 剛

電話 〇九四四・八七・七二九七
FAX 〇九四四・八七・七二〇二



●皆様の暖かいご寄付

ありがとうございます

（順不同掲載）

・西村 利男 もち米三十kg

・平方生花 生花 毎月

定例会として

・毎月二十日前後 生花教室

指導 池坊 山田差也珂

〈児童デイサービス〉

・中村カズ子 創作材料・備品等

●障害者（児）に関するお困りごとの

ご相談をお受けします

木の香園相談支援センター

*当施設にご意見などありましたら

ご遠慮なく申し出ください

一、苦情処理担当 山崎まゆみ

苦情解決責任者 樺島留男

二、第三者委員 中村研一

蔵森久次

三、その他の苦情受付機関

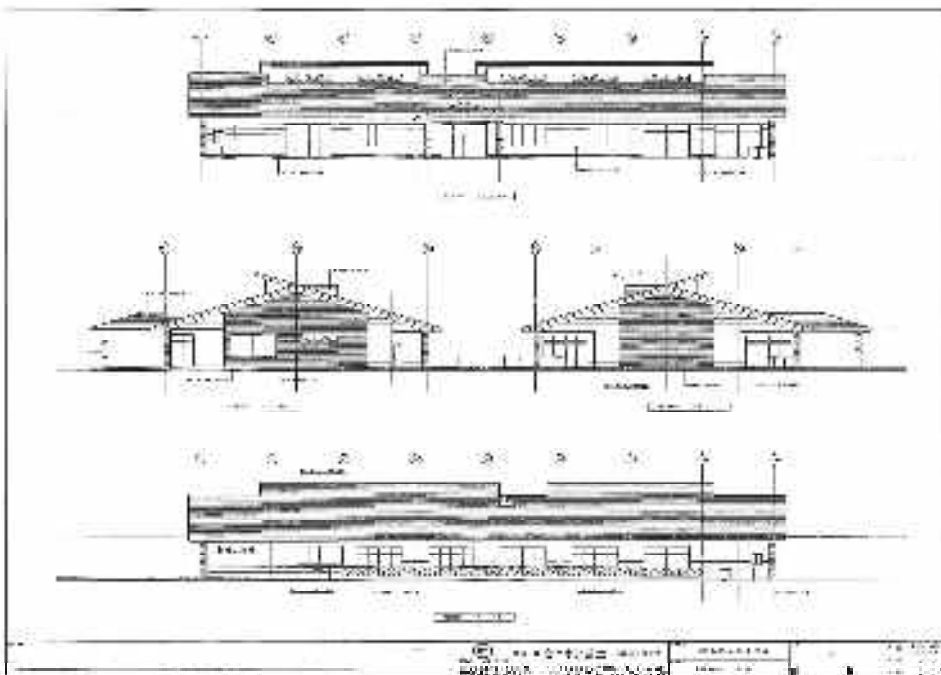
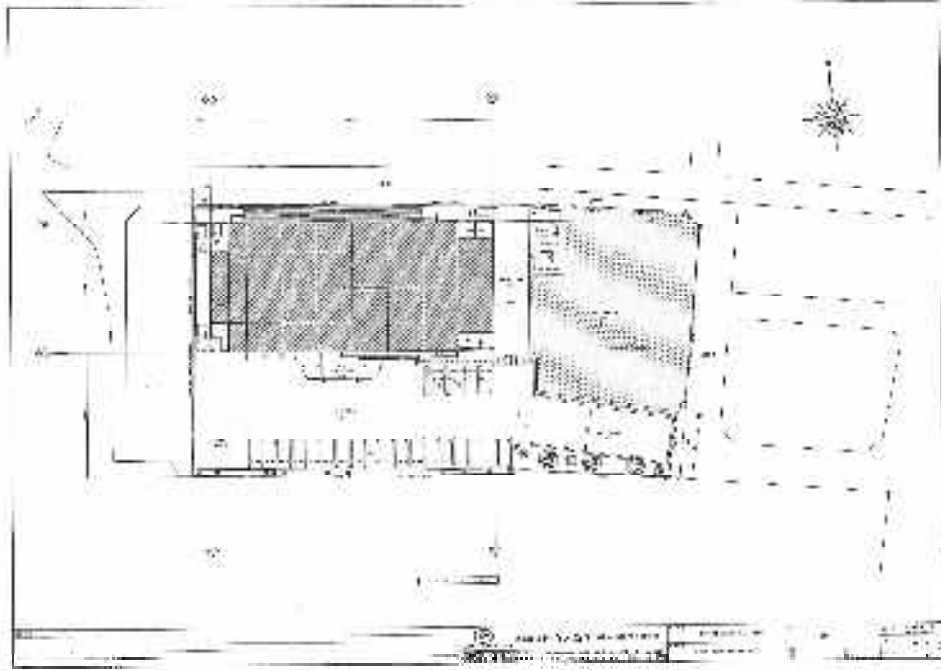
福岡県社会福祉協議会運営適正化委員会

電話 〇九二 九一五―三五一一

平成22年度 社会福祉施設整備事業

社会福祉法人大川市福祉会では障害者自立支援法に基づく新体系移行を来年4月に開始する予定です。（多機能型事業所「就労支援15名」、「生活介護支援30名」）

それに伴い、新たに大川市下林地区に多機能型事業所を建設する事になり、現在その準備を進めています。



新事業所の見取り図と設計図です



新事業所の建設予定地（大川市下林）